○令和３年度　【喜多方市立第一小学校】

＜大豆の豆叩き　３年生＞

３年生は、初めての農業科で大豆を育てました。種まきをしてから、芽が出て背丈が伸び、葉が増えていくのを楽しみに観察してきました。支援員の鈴木さんから肥料のやり過ぎで茎や葉に栄養をとられて実ができていないと教えていただき、それもよい学習になりました。できた実を叩いて取り出す「豆ぶち」に挑戦し、煎り豆にして砂糖をからめる大豆スイーツを作り、貴重な体験に目を輝かせていました。育てた大豆を大切においしくいただくことができました。

＜カボチャのパンケーキ作り　４年生＞

４年生は、種と苗からカボチャを育てました。種や苗も観察し、種がヘチマの種に似ていたり、苗には茎や葉に細かい毛が生えていたりしていることに気づき、興味をもって活動に取り組むことができました。うまく育たなかった苗もあり、残念な気持ちになりましたが、カボチャのつるはどんどん伸びて２ｍを超え、無事に実をつけることができました。夏休み明けに収穫し、１１月にパンケーキに入れると、かぼちゃがとても甘かったです。貴重な体験になりました。

＜米づくり　5年生＞

５年生は、関柴町の小林さんの田んぼをお借りして、もち米を育てました。社会科の「日本の農業」の学習と結びつけながら、農家の方々の工夫や苦労を学ぶことができました。一粒の小さなもみが、たくさんの米として実ったことは大きな感動でした。泥だらけの田植え、晴天の下での稲刈り、どちらも忘れられない体験となりました。収穫したもち米は切り餅に加工し、焼いておいしくいただきました。

＜落花生　6年生＞

６年生は、落花生を育てました。落花生について調べたり、専門のおくやさんに話をしていただいたりしながら落花生について詳しくなっていきました。自ら種を蒔き、収穫する事の喜びを感じると共に、喜多方を盛り上げようと努力している方々の思いに触れることができました。自分たちのできることを協力しながら、喜多方の「落花生×チョコレート職人の菅原さん×第一小学校」をコンセプトに商品作りに関わり、販売活動を体験させていただきながら、自分の生き方について考えるきっかけになりました。